















# 補習指導型モデル学習プラン

# 英語(文系・理系共通)

モデルケース:入試に必要な基礎学力を確実に固めさらにワンランク上の志望校を目指す生徒

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高1	 スタンダード英語 I			 高ゼミサポート select II 英語 I					 高ゼミサポート select III 英語 I			 高ゼミサポート select I 英語 I のまとめ
ワンポイントアドバイス	<p>高1は、主に英文法の基礎固めを行います。「高校ゼミ スタンダード英語 I」を10～11月までに終わらせて、2回目の復習をすることをお勧めします。1回目の時よりも短時間で終わられるはず。余裕があれば、7～8月に1ランク上の「高校ゼミ サポート select II 英語 I」に挑戦してみてもよいでしょう。12月に行う「高校ゼミサポート select III 英語 I」は、「高校ゼミ スタンダード英語 I」と比べると難易度が高めなので、挑戦問題として、1～2ヵ月かけてゆっくり進めても構いません。苦手な単元は、そのつど「高校ゼミ スタンダード英語 I」に戻って、基本事項を確認しましょう。また、高1の段階から単語ノートを作り、知らない単語が出てくるたびに、辞書を引いて単語ノートに書く習慣を付けるとよいでしょう。</p>											
高2	 スタンダード英語 II			 高ゼミサポート select II 英語 II					 高ゼミサポート select III 英文解釈	 高ゼミサポート select III 英語 II		 高ゼミサポート select I 英語重要構文
ワンポイントアドバイス	<p>高2は「高校ゼミ スタンダード英語 II」を軸に進めていきます。7～8月に、1ランク上の「高校ゼミ サポート select II 英語 II」に挑戦してみてもよいでしょう。また、余裕があれば、高1用の通年テキスト「高校ゼミ スタンダード英語 I」を3～4ヵ月で1冊やり終えれば、より一層英文法の基礎固めができて、高3～入試に備えることができます。「高校ゼミ サポート select III 英語 II」「高校ゼミ サポート select III 英文解釈」は難易度が高めなので、2～3ヵ月かけてじっくり進めても構いません。「高校ゼミサポート select I 英語重要構文」を前倒しで、2月頃から時間をかけて行うのもよいでしょう。解きっぱなしにならないよう、同じテキストを2回は反復学習します。1回目は授業で行い、2回目は自学自習で進める学習法も効果的です。</p>											
高3	 エッセンス英文法総合			 エッセンス英語長文	志望校の過去問題開始	 プラクティス英語 文法編	 プラクティス英語 長文編		 高ゼミサポート select III 英語長文			
ワンポイントアドバイス	<p>高3は、「高校ゼミ エッセンス英文法総合」を用いて入試に対する実践力を磨いていきます。7月頃から「高校ゼミ エッセンス英語長文」を使って本格的に長文読解の練習に取り掛かり、8月頃から志望校の過去問を開始します。9月以降は「高校ゼミプラクティス英語 文法編」を使って、問題演習を通して文法事項を一気におさらいして、余裕があれば「高校ゼミプラクティス英語 長文編」も並行して行い、演習量を増やしましょう。最後に、「高校ゼミ サポート select III 英語長文」で長文読解の総仕上げを行います。基本レベルの通年テキストを中心に、じっくりと時間をかけて進めていくプランです。</p>											